

記録計TRM-00J リニューアルのご案内

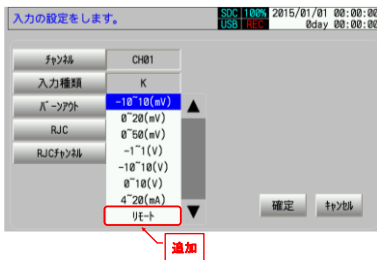


追加機能の特長

- PLCやタッチパネルなどのModbusマスタ機能を持った外部機器データ(設定・測定データ等)を通信にてTRM-00Jに書き込み記録可能。
- 記録計をマスタとして使用し、スレーブ側のデータ値を記録可能。(※記録時刻は非同期)
- PLCやタッチパネルなどのModbusマスタ機能を持った外部機器から通信にてTRM-00JのDO01～DO12(12点)を制御(ON/OFF)可能。
新たに、DI(読み出しのみ)とDOコマンドを追加し、ビット単位で指定可能。
- オプション品として携帯ケースを用意。

【追加機能1】

<図1>



入力種類設定(CH01～CH06)の末尾に「リモート」を追加(図1)

従来の記録方法(センサや計測器の伝送信号(電圧・電流)を接続)に加え、通信経路にて外部装置の測定値を記録結果として残すことが可能になりました。

<活用シーンのご提案>

- ①RS-485 (Modbus)にて上位からセットした値を記憶
 - ・FAでポピュラーなModbus通信を採用
 - ・任意のchのみの使用も可能



◆利点◆

- ・上位システムは記録したいch数分のAOが不要となりRS-485ひとつで実現出来る。
 - ・アナログ信号(出カ-入力)の誤差を排除出来る。
- 現行システムに対してログ機能の拡張が可能になります。

- ②RS-485 (Modbus / TOHOプロトコル)にて温度調節計から取得した値を記憶

◆利点◆

- ・アナログ信号(出カ-入力)の誤差を排除出来る。
 - ・温度調節計の出力が空いていない場合でも使用出来る。
- ローカルデータ収集システムの構築が可能になります。
(HACCP対応、空気循環(CO2濃度)管理、記録見える化・データ分析)



<ローカルデータ収集システム:有線>



<ローカルデータ収集システム:無線>

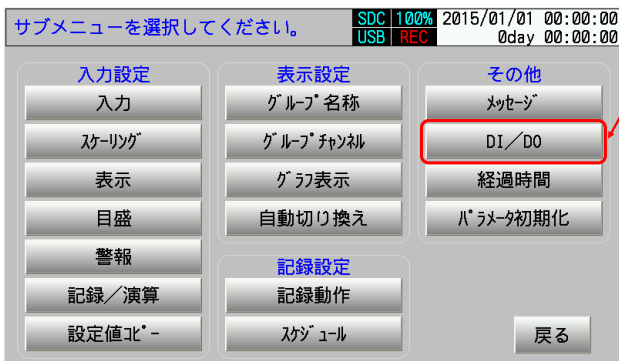
* ①・②は併用不可

【追加機能2】

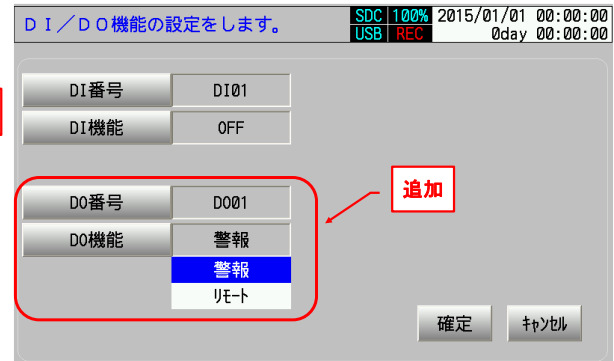
外部装置の拡張I/Oとしての機能を追加し、通信経路にてDI情報参照、DOのコントロールが可能になりました。

- ・パラメータ設定のその他の「DI」→「DI/DO」に名称を変更(図2)
- ・DI機能設定にDO機能の設定を追加し、DO機能の警報とリモートが変更可能(図3)
- ・「DI動作」「DO動作」のコマンドを追加

<図2>



<図3>



【オプション品追加】

オプション品に携帯ケース「TRM-CARRYCASE」を追加

外形寸法: 234.4 × 197.4 × 137mm(取っ手含む)



取付対象機種	形式	寸法図
TRM00J TRM20A TRM10C	TRM-CARRYCASE	



注意 本製品は一般産業用設備の温度その他の物理量を制御する目的で設計されております。人命に重大な影響を及ぼすような制御対象にはご使用にならないでください。

警告 本製品を正しく安全に使用いただくため取扱説明書をよくお読みください。本製品の故障によりシステムまたは財産等に損傷、損害が発生する恐れがある場合は、故障防止対策の安全措置を施したうえでご使用ください。

- 本社 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本二丁目4番3号
☎(042)700-2100(代) FAX (042)700-2112
- 東京営業所 〒151-0066 東京都渋谷区西原三丁目1番8号(パレス代々木上原4F)
☎(03)5452-4010(代) FAX (03)5452-4017
- 名古屋営業所 〒486-0856 愛知県春日井市梅ヶ坪町29 (Lアーバン21 1F)
☎(0568)87-3511(代) FAX (0568)87-3512
- 大阪営業所 〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋2丁目北1番21号 (八千代ビル東館7F)
☎(06)6353-9205(代) FAX (06)6353-9273

●このカタログに記載された仕様、定格などは予告なく変更する場合がございます。
 ※印刷のため商品の色調は実物と異なることがあります。